

臨床医学研究のお知らせ

東京慈恵会医科大学では、将来の医療を向上させるため、聖路加国際病院と共同で臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒 105-8471 東京都港区西新橋 3-19-18

電話： 0570-03-2222

担当者の所属・氏名 東京慈恵会医科大学 小児科学講座 田中克侑

【研究責任者】

東京慈恵会医科大学 小児科学講座 田中克侑

【研究代表者】

聖路加国際病院 小児科 小野 林太郎

小児疾患の鑑別目的に測定する可溶性 IL-2 受容体の有用性

に関する後方視的研究

1.研究の対象

2018 年 1 月～2024 年 12 月に当院で血清可溶性インターロイキン 2 受容体 (sIL-2R) を測定された 16 歳未満の方

2.研究の目的・方法

血清 sIL-2R は、悪性リンパ腫の診断マーカーとして利用されていますが、実際は感染症、自己免疫疾患、血球貪食性リンパ組織球症、肉芽腫症などの様々な疾患や病態でも上昇します。

今回の研究では、小児の症例で、疾患や病態の診断時に測定された血清 sIL-2R 値を、診断名や関連する症状や検査とともに調査することによって、小児での様々な疾患や病態の診断における血清 sIL-2R の測定の意義を明らかにすることを目的にしております。

なお、この調査では医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2027 年 3 月 31 日までの予定です。該当データの利用開始は、2025 年 10 月 1 日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断、血清 sIL-2R 値を含む血液検査結果、症状、画像検査結果、等。氏名、住所、カルテ番号等の個人情報の収集は行いません。

4.外部への試料・情報の提供

代表機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、記録媒体により行います。データと研究の対象の方との対応させた表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

【研究代表者】 小野 林太郎 （聖路加国際病院 小児科）

【共同研究機関・研究分担者】

信州大学医学部附属病院 小児科 坂本 謙一

東京慈恵会医科大学 小児科 田中 克侑

国立国際医療センター病院 小児科 望月 慎史

長野県立こども病院 血液腫瘍科 師川 紘一

京都府立医科大学 小児科 眞弓 あずさ

京都府立医科大学附属北部医療センター 小児科 眞弓 あずさ